

【概略残存状況と復原方針案】 残存状況及び痕跡は、概ね古図面と合致する。

	和室棟	洋室棟	玄関・事務棟		侍女棟	調理・配膳棟		化粧室・浴室棟
			玄関	事務		調理	配膳	
基礎	○	○	○	○	○ ただし、撤去された 女中洗面所・手洗は未確認	不明	○	○ ただし上部研られている
軸組	○	○	土台：○ 柱痕跡あり：△	土台：○ 柱痕跡あり：△ ※ただし調理棟側不明	土台：○ 柱痕跡あり：△	土台：不明 柱：×	土台：○ 柱痕跡あり：△	×
小屋組	○	○	○	玄関側：○ 調理側：×	○	×	×	×
内装 (仕上・造作)	○	○	×	ほぼ現存しないが 一部残る	×	×	×	×
外装 (仕上・造作)	○	○	×	×	×	×	×	×
内外建具	○	○	×	×	×	×	×	×
屋根	×	×	×	×	×	×	×	×
古写真の有無	当初に近い 外観古写真あり	当初に近い 外観古写真あり	当初に近い 外観古写真あり	×	×	×	×	S 63年頃の 部分的な外観写真あり
復原方針案	<ul style="list-style-type: none"> ・間仕切、内外装等、可能な限り当初復原を目指す ・不可能な範囲(復原根拠不確定範囲)は現状維持とする ・化粧室・浴室棟取り合いは、外壁として整備(※1) 			<ul style="list-style-type: none"> ・規模、外装(外壁、屋根等)は当初復原を目指す ・柱は原則復原とし、活用に合わせて調整 ・間仕切、内装、床高さは活用に合わせて調整(※2) ・侍女棟の撤去範囲(女中洗面所、手洗)は復原せずに外壁として整備(※1)する方針とするが、基礎試掘により規模が明らかになった場合は復原を検討 			<ul style="list-style-type: none"> ・基礎を保護の上、上部構造の復原はしない 	

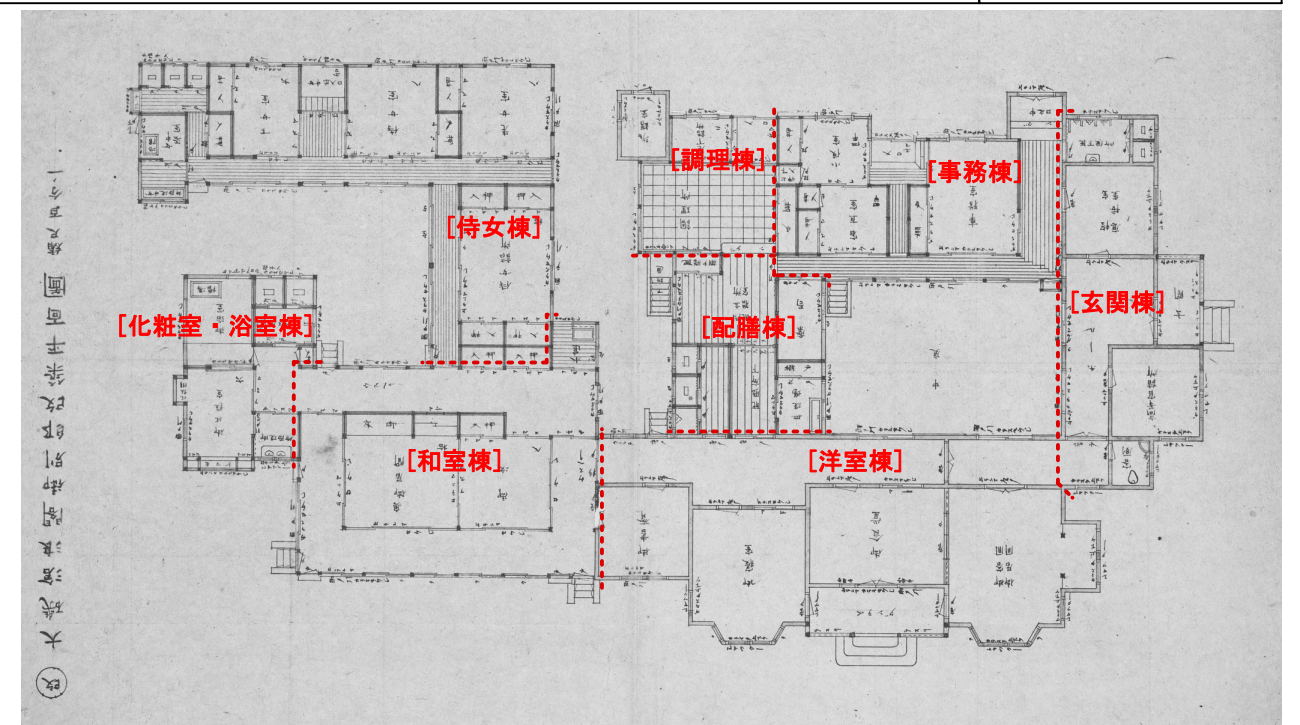
○：概ね残る

△：一部残る、痕跡のみ残る

×：現段階で目視確認できない(解体調査により痕跡や実物が発見される可能性あり)

※1：外壁の整備は、旧デザインと調和した判別可能な仕様とする。

※2：活用改修部は、可逆性のある仕様、構法とする。



※指定文の棟名称は、[玄関・事務棟]、[洋室棟]、[和室棟]、[調理・配膳棟]、[侍女棟]の5棟となっている。本資料では、[玄関・事務棟]、[調理・配膳棟]を小屋組や基礎形状を基に、玄関棟、事務棟、調理棟、配膳棟に便宜的に分けて設定している。